



Press Release

公益財団法人 J R 西日本あんしん社会財団
〒530-8341 大阪市北区芝田二丁目 4-24
TEL 06-6375-3202 FAX 06-6375-3229

2018年度
第1回

いのちのセミナー

～ひとのいのち 私のいのち を考える～

開催のお知らせ

2018年度は“ひとのいのち 私のいのち を考える”を年間のテーマとして「いのちのセミナー」を開催します。“ひと”には“人(人間)”と“他人(自己に対する他者)”の2つの意味を込めています。

この2018年度「いのちのセミナー」の第1回を以下のとおり開催し、参加者を募集しますのでお知らせします。

1 日 時 2018年5月20日(日) 13:30～15:00 ※13:00 開場

2 会 場 松下IMPホール (JR・京阪 京橋駅より徒歩10分)

3 講 師 **大林 宣彦 氏** 映画作家

〈演題〉

「あなたのいのちと私のいのちを考える ～あなたと私は人であるから～^{ひと}」

〔大林 宣彦 (おおばやし のぶひこ) 氏 プロフィール〕

1938年広島県尾道市生まれ。3歳の時に自宅の納戸で出会った活動写真機で、個人映画の製作を始める。16mmフィルムによる自主製作映画『EMOTION=伝説の午後・いつか見たドラキュラ』が、画廊・ホール・大学を中心に上映され、高い評価を得る。『喰べた人』(63)はベルギー国際実験映画祭で審査員特別賞を受賞。1977年『HOUSE/ハウス』で商業映画に進出。同年、ブルーリボン新人賞を受賞。故郷で撮影された『転校生』(82)『時をかける少女』(83)『さびしんぼう』(85)は“尾道三部作”と称され親しまれている。『異人たちとの夏』(88)で毎日映画コンクール監督賞、『北京的西瓜』(89)で山路ふみ子映画賞、『青春デンデケデケデケ』(92)で平成4年度文化庁優秀映画作品賞、『SADA』(92)でベルリン国際映画祭国際批評家連盟賞、『理由』(04)で日本映画批評家大賞・監督賞、藤本賞奨励賞を受賞。『この空の花 一長岡花火物語』(11)『野のなななのか』(14)は、TAMA映画祭映画祭にて最優秀作品賞等受賞。最新作『花筐/HANAGATAMI』2017年12月16日公開。キネマ旬報監督賞、毎日映画コンクール日本映画大賞を受賞。2004年春の紫綬褒章受章、2009年秋の旭日小綬章受章。



4 主 催 等 主催/公益財団法人 J R 西日本あんしん社会財団
協力/西日本旅客鉄道株式会社

5 定 員 800名(参加無料)
※事前のご応募が必要です。応募者多数の場合は抽選とし、当選者の発表は参加証の発送(5月8日頃予定)をもって代えさせていただきます。
※当日は、参加証をお持ちの方のみ入場していただけます。

6 応募方法 当財団ホームページ (<https://www.jrw-relief-f.or.jp/>) からご応募ください。
※ハガキでもご応募いただけます。「第1回いのちのセミナー参加希望」と明記のうえ、参加される方の氏名(フリガナ)・郵便番号・住所・電話番号を記載し、下記の宛先へお送りください。

〒530-8341 大阪市北区芝田二丁目4番24号 JR西日本あんしん社会財団

※1名様1回(ハガキは1枚)限りのご応募とさせていただきます。また、1回に2名様以上でのご応募はお受けできかねますので、あらかじめご了承ください。

7 応募締切 2018年4月23日(月) ※ハガキの場合は必着

【今後の予定】2018年度「いのちのセミナー」の次回以降の講師は、小笠原 望、垣添 忠生、関谷 直人、佃 祐世、浜村 淳、南 直哉 他の各氏(50音順)を予定しています。詳細が決まりましたら発表いたします。